

用語集

あ

イタリアン（ラ イグラス）	寒地型イネ科牧草で、主に単年利用される。耐湿性が比較的強いことなどから、水田裏作での栽培にも適する。
------------------	--

液肥化	流動性の高いふん尿混合物（スラリー）や尿等の液状の有機質を、微生物による分解（「発酵」とも呼ばれる。）等により、液状の肥料として利用できるように変換すること。家畜のふん尿の場合は、液肥化の過程で臭気の軽減が期待できる効果もある。
-----	--

エコフィード	エコフィード（ecofeed）とは、食品残さ等を有効活用した飼料のこと。環境にやさしい（ecological）や節約する（economical）等を意味するエコ（eco）と飼料を意味するフィード（feed）を併せた造語。
--------	--

エコフィード認 証制度	エコフィードについて、一定の基準を満たす飼料を認証することで、食品リサイクルへの関心と理解を深めるとともに、積極的な飼料化を推進することを目的に、認証制度を創設。（平成 21 年 3 月 23 日：（社）日本科学飼料協会）
----------------	---

SNP（一塩基 多型）遺伝子解 析技術	一つの塩基配列の違いが、乳量等の個体能力の違いを生じさせることがあり、これを「一塩基多型（SNP（Single Nucleotide Polymorphism の略））」と呼ぶ。その関係を明らかにすることで、家畜改良に役立てる技術。
---------------------------	--

SBS方式	売買同時契約方式（SBS（Simultaneous Buy and Sell の略））のこと。予め需要者及び輸入業者が結びつき、輸入銘柄、輸入港及び輸入時期等を選択でき、多様なニーズに応えられる仕組み。
-------	---

か

家族経営協定	農業経営に参画する個人の地位及び役割を明確化し、その意欲と能力を十分に発揮できるようにするため、経営の方針や家族一人ひとりの役割、働きやすい環境づくりなどについて家族みんなの話し合いにより取り決めるもの。
--------	--

環境負荷	人の活動により、環境に加えられる影響であって、環境の保全上の支障の原因となるおそれのあるものをいう。農業分野で
------	---

は、肥料・農薬の過剰な投入や家畜排せつ物の不適切な管理が環境負荷の主な発生要因となっている。

牛群検定	農家が飼養している乳用牛の状況を客観的に数字で把握し、飼養管理改善や牛群改良に役立てるシステムのこと。具体的には、乳量、乳成分、体細胞数等のデータを個体毎に記録し、これらを集計・分析することにより、能力の高い雌牛の選抜を推進するもの。農家の牛群は乳用牛改良の基盤であり、収集されたデータは「検定成績表」として農家にフィードバックされ、能力に応じた雌牛の選抜的利用、飼料給与の改善、搾乳衛生管理、繁殖管理、遺伝的改良といった経営改善に役立っている。
クーラーステーション	酪農家から集めた生乳を、県内外の乳業工場に効率的かつ合理的に流通させるために一時的に冷却貯留する施設。
組換えDNA技術応用飼料	一般的に遺伝子組換え作物と呼ばれる。「飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律」に基づき、家畜が組換えDNA技術応用飼料を摂取する際の安全性については農業資材審議会、人が組換えDNA技術応用飼料を給与された家畜由来の畜産物を摂取する際の安全性については食品安全委員会にそれぞれ意見を聴き、その結果を受けて農林水産大臣による安全性の確認が行われたもののみ飼料として利用可能。
公共牧場	地方公共団体、農業協同組合、牧野組合等の団体が地域畜産の振興を図るため、農家の乳用牛または肉用牛を預かり、放牧利用を中心とした集団的な飼養管理を行う牧場。ふれあい機能をもつ牧場を「ふれあい牧場」とも呼ぶ。
耕作放棄地	農林水産省の統計調査における区分であり、調査日以前1年以上作付けせず、今後数年の間に再び耕作する意思のない土地をいう。なお、これに対して、調査日以前1年以上作付けしなかったが、今後数年の間に再び耕作する意思のある土地は不作付け地といわれ経営耕地に含まれる。
口蹄疫	口蹄疫ウイルスが原因で、偶蹄類の家畜（牛、豚、山羊、綿羊、水牛など）や野生動物（ラクダやシカなど）がかかる病気。口蹄疫に感染すると、発熱したり、口の中や蹄の付け根などに水ぶくれができたりするなどの症状がみられる。口蹄疫にかけると、子牛や子豚では死亡することもあるが、成長した家畜では死亡率が数%程度といわれている。しかし、偶蹄類動物に対するウイルスの伝播力が非常に強いので、他の偶蹄類動物へうつさないようにするための措置が必要。
コントラクター	農家の労働力等を補うため、畜産農家等から、飼料作物の収穫作業等の農作業を請け負う組織。営農集団や農協等、様々な経営形態がある。

混播（牧草	牛の栄養バランス、草地の生産性を考慮して、イネ科牧草とマメ科牧草を混ぜて播種すること又はその牧草。
さ	
細断型ロールベ ーラー	飼料作物を細断しながら収穫し、ロールベールを成形できるロールベラー。高密度梱包が可能であるため、高品質なロールサイレージを省力的に生産することができる。比較的小規模なほ場の収穫にも適していることから、青刈リトウモロコシの生産を拡大する技術として注目されている。また、近年湿田での飼料用稲の収穫に適した飼料用稲用収穫機や、牧草も成形可能な汎用型収穫機が開発されている。
搾乳ロボット	人に代わり自動的に搾乳する機械のこと。具体的には、穀類などの飼料により牛を柙に誘導し、牛が柙内に入ると乳頭をセンサーで検出し、搾乳のためのカップを装着して搾乳する。搾乳が終了するとカップを自動的に離脱させて、牛を退出させる。牛はいつでも好むときに自らロボットに入ることができ、ストレスを与えず乳量も増える。
搾乳ユニット自 動搬送装置	繋ぎ飼い牛舎内で頭上に設置されたレールを用い、搾乳ユニットを乳牛の近くまで自動的に搬送する装置。これにより、搾乳ユニットを持ち運ぶ労働が軽減される。
サテライトショ ップ	製品の紹介や消費者の反応を見ることを目的として開設する店舗。
CBS（キャト ルブリーディン グステーション）	繁殖経営で多くの時間を費やす、繁殖雌牛の分娩・種付けや子牛のほ育・育成を集約的に行う組織。なお、CS（キャトルステーション）は、繁殖経営で生産された子牛のほ育・育成を集約的に行う組織であり、繁殖雌牛の預託を行う場合もある。
指定生乳生産者 団体	加工原料乳生産者補給金等暫定措置法に基づき都道府県知事又は農林水産大臣が指定する生乳生産者の団体（全国 10 団体）。酪農家に代わり生乳を複数の乳業メーカーに多元的に販売する事業を行う。
集送乳	酪農家が生産した生乳をタンクローリーによりクーラーステーションに集め、その集めた生乳を乳業工場に輸送すること。
使用規制制度	「薬事法」に基づき、動物医薬品の中で適正に使用されなければ畜産物中に残留し、人の健康を損なう恐れのあるものについては、使用できる対象動物、用法及び用量、使用禁止期間等の基準を定める制度。

食育	様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。
生涯生産性	単なる乳量だけでなく、乳牛の供用年数等の経済性も考慮した生涯における生産性のこと。
食品産業	食料の加工、流通、外食等のサービスを提供する産業。 その国内生産額は全産業 1,001 兆円のうち約 82 兆円（約 8 %（平成 19 年度））、就業者数は全産業 6,151 万人のうち 775 万人（約 13 %（平成 17 年次））を占め、国民経済的に見ても重要な位置付けを有する。
飼料用稲	稲発酵粗飼料や飼料用米等、飼料用に利用される稲。国産飼料の確保や水田有効活用の耕畜双方にメリットがあることから、近年取組が拡大している。
稲発酵粗飼料（稲WCS）	稲の実が完熟する前に、実と茎葉を一体的に収穫し、乳酸菌発酵させた飼料。稲ホールクロップ・サイレージ（稲WCS）とも呼ばれる。水田の有効活用と飼料自給率の向上に資する飼料作物として、作付面積が拡大している。
飼料用米	家畜の飼料として利用される米。稲発酵粗飼料とは異なり、茎葉は利用せず、粳のみを活用する。輸入飼料価格が今後とも高水準で推移する可能性がある中で、輸入とうもろこしに代替できる国産飼料原料として、また、水田の有効活用と飼料自給率の向上に資する飼料作物として注目され、作付面積が急激に拡大している。 なお、稲わらについても飼料利用が可能なことから積極的な活用が推奨される。
飼料添加物	飼料の品質低下の防止や栄養成分の補給、飼料が含有している栄養成分の有効な利用の促進の目的で添加・混和等の方法によって用いられる抗菌性物質等の総称。「飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律」により指定されたもののみ利用可能。
スーダングラス・ソルガム	イネ科の飼料作物で、通常単年利用される。温暖地から暖地を中心に栽培されている。再生力が強いことから台風の常襲地帯でも栽培が可能。一般的に収量性、耐旱性及び耐湿性が高い。
スタンション (連動スタンション)	牛の首の部分を固定しておく装置。主に繋ぎ飼い牛舎で利用されるが、放し飼い方式牛舎の給餌柵などにも使用されている。、個体別給餌、発情や異常の発見しやすさ、他の個体同士との競合や闘争の防止など、個体管理の点で多くの利点がある。 連続したスタンションの開閉を一元的に同時に行うことが出

来るシステム。

性判別精液	フローサイトメーター（自動細胞識別装置）を用いてDNA量のわずかな違いを識別し、精子をX精子（雌精子）又はY精子（雄精子）に分別した精液。
た	
たい肥化	有機物を含む材料を、酸素が十分にある条件下で微生物の作用により分解（「発酵」とも呼ばれる。）し、土壌改良資材や肥料に変換すること。家畜のふんをたい肥化する場合は、分解を促す上で通気性の確保が必要となるため、もみがらやおがくずなどの副資材を混合して、適宜かくはんや切り返しを行うことが重要。
地産地消	地域で生産された産物を、その地域で消費するという考え方にに基づき行われている取組。 具体例として、直売所を利用した地域産物の販売、地域産物への理解を深めるための生産者と消費者の交流活動などがある。
地域団体商標	日本の「商標法」において、地域の名称と商品または役務の名称を普通に用いられる方法で表示する文字のみからなる商標等であって、一定の範囲で周知となったため、事業協同組合、農業協同組合等が商標登録を受ける商標（平成 18 年 4 月 1 日より開始）。
チモシー	寒地型イネ科の多年生牧草。耐寒性が強く永続性、嗜好性及び栄養価に優れる草。北海道における栽培が多く、採草、放牧兼用種として利用される。高温・乾燥条件に弱いことから、冷涼地帯以外ではあまり用いられない。
直接消費用ナチュラルチーズ	ナチュラルチーズ（加熱処理されていないチーズ）のうち、家庭用、加工用（製菓・製パン用等）、業務用（宅配ピザ等）に仕向けられるもの。これ以外のものはプロセスチーズ用の原料として利用される。
地理的表示制度	確立した品質、社会的評価その他の特性が商品の地理的原産地に主として帰せられる場合、当該商品が加盟国の領域又はその領域内の地域若しくは地方を原産地とするものであることを特定する表示。 例えば、フランスのボルドーワイン（ボルドー産）、イタリアのゴルゴンゾーラチーズ（ゴルゴンゾーラ産）、スイスのエメンタールチーズ（エメンタール産）など。
DNA解析技術	遺伝的能力や遺伝病の発生を事前に把握するため、優良な形

質や遺伝病に関連するDNA（遺伝子）を特定する技術。現在、優良形質については、黒毛和種の脂肪交雑、枝肉重量に関連するDNAが特定されつつあり、機能解析から特許に結びついた事例も出ている。また、遺伝病については、原因となるDNA（遺伝子）の特定により、牛で8種、豚で1種の遺伝病診断法が確立されている。

TMR	Total Mixed Ration（完全混合飼料）の略。粗飼料や濃厚飼料等を混合し、牛が必要としている全ての栄養素をバランス良く含んだ飼料。栄養的に均一で選び食いができないという特長がある。これを専門的に作り、農家に供給する施設をTMRセンターという。
土地利用型農業	農地に米、麦、大豆などを作付け、栽培管理、収穫などを行う農業。
は	
バイオマス	再生可能な生物由来の有機性資源で、化石資源を除いたもの。例えば、家畜排せつ物や食品廃棄物はこれに含まれる。
パイプライン	搾乳機（ミルカー）により搾った生乳を牛舎や搾乳室に配管されたパイプを通じて冷却装置（バルククーラー）に送り、冷却・貯蔵する方式。
HACCP	Hazard Analysis and Critical Control Point（危害分析重要管理点）の略。これまでのような最終製品の抜き取り検査を中心とする品質管理方法とは異なり、原材料から加工・包装・出荷に至るすべての段階で発生する可能性のある食品衛生上の問題点を検討し、その発生を防止又は減少させる管理方式。
BSE	Bovine Spongiform Encephalopathy（牛海綿状脳症）の略。異常プリオンたんぱく質（細胞たんぱく質の一種が異常化したもの）に汚染された飼料（BSE感染牛の脳等を含む肉骨粉等）の摂取により経口感染すると考えられている牛の疾病。2年以上の長い潜伏期間の後、脳組織がスポンジ状になり、行動異常等の神経症状を呈し、発病後2週間から6か月で死に至る。1986年に英国で初めて報告されたが、これは、70年代に英国での肉骨粉の製造工程が変化したことにより、異常プリオンたんぱく質が不活化されずに残存した肉骨粉が流通・給与されたことが背景にあると考えられている。
泌乳持続性	乳量の変化が小さく、泌乳ピーク時の乳量を持続する能力。
ブラウンスイス種	スイス北東部山岳地帯原産の乳牛。乳量がホルスタイン種に比べ少ないため、平成20年現在、国内で飼養される乳用牛約

150 万頭のうち、ブラウンスイス種は約 1,200 頭程度にとどまっている。身体の大きさは日本で一般的なホルスタイン種と同程度の大きさで、体色は灰褐色。乳質は乳脂肪分 4 %程度、たんぱく質含有量は 3.4 %程度と濃厚なため、チーズ製造に適しているとされる。

フリーストール	放し飼い式牛舎で、列状に配置した牛床（ストール）に牛が自由に横臥できる方式をいう。牛が自由に行動できるため、牛にストレスを与えず、また省力化の効果が大きい。
フリーバーン	放し飼い式牛舎で、全面に敷料をおき、どこでも牛が横臥できる方式をいう。牛にストレスを与えないが、適切な敷料管理とふん尿処理が要求される。
分離給与	粗飼料と濃厚飼料等を別々に給与する方式のこと。一方、粗飼料と濃厚飼料等を混合して給与する方式に TMR 等の方式がある。⇒ TMR 分離給与は古くから行われており、設備投資を必要とせず、緻密な給餌方法をとれば、個体別管理ができるなどの利点がある一方、選び食いを助長し、給餌作業時間が長くとられるなどの短所がある。
ヘルパー	農家が休日を確認する場合や突発事故が発生した場合等において農家に代わり飼養管理等を行う者。
放牧畜産認証制度	自給飼料の利用拡大や放牧の普及促進と消費者の理解醸成を図るため、(社)日本草地畜産種子協会が定めた放牧畜産認証制度。1 頭当たりの放牧面積など一定の基準（放牧畜産基準）を満たす必要がある。
ほ乳ロボット	子牛へ自動的に代用乳を与える装置。省力化だけでなく、子牛個体毎にほ乳量やほ乳回数を自由にコントロールできるため、子牛の発育管理に役立つとともに、早くから集団管理にならされることができる。
ま	
ミルキングパーラー	放し飼い方式で飼養される乳牛を搾乳するための部屋のこと。牛をパーラーに移動させて搾乳を行うため、省力化の効果が大きい。
よ	
要指示医薬品制度	「薬事法」に基づき、動物用医薬品の中で副作用が強いものや病原菌に対して耐性を生じやすいものなど、使用に当たり獣医師の専門的な知識と技術を必要とするものは、獣医師からの

処方せんの交付又は指示を受けた者以外への販売を禁止する制度。

ら

酪農教育ファーム	子供達を中心に受け入れを行い、実際に牛に触れたり、搾乳を体験することによって、「心の教育」「命の教育」「食の教育」を実践する牧場。
----------	---
